

吉田徹『居場所なき革命：フランス1968年とドゴール主義』 (みすず書房、2022年)出版記念合評会

日時：2023年4月14日(金) 17:30～20:00

会場：キャンパスプラザ京都 6階第1会議室

対面参加は事前登録不要

登壇者：

吉田徹(同志社大学)

松尾秀哉(龍谷大学)

川嶋周一(明治大学)

司会および問い合わせ先：

加藤雅俊(立命館大学)

mkato@fc.ritsumeai.ac.jp



※なお、遠隔の方やご多忙の方向けに、
会場の様子を当日オンラインで配信します。
オンラインでの参加をご希望の方は、
4月12日(水)までに、以下のリンク先
もしくは右のQRコードからお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/0aYxNHHmxB>

吉田徹『居場所なき革命：フランス
1968年とドゴール主義』(みすず書房、
2022年)出版記念合評会(2023年)



「68年5月革命」とは何だったのか。これまで数多くの人文社会科学者が分析を重ねてきたが、未だに論争が絶えないこの学術的にも社会的にも重要な問いに対して、吉田氏は、政治史的アプローチに依拠し、ドゴール主義の終焉という観点から分析を進め、5月革命が二重の意味で「居場所なき」ものであったことを明らかにする。合評会では、ベルギーを中心としたヨーロッパ政治史を専門とする松尾氏と、EU統合を中心とした国際関係史を専門とする川嶋氏からコメントをいただき、質疑応答に移る。本企画が、本書の意義を理解し、5月革命の政治的意味を再興する機会となれば幸いである。

【共催】

・立命館大学人文科学研究所・重点プログラム「グローバル化と地域の多様性(diversity)」
・科学研究費・基盤研究(B)「家族主義レジーム」の変容に関する国際比較研究—家族政策の多様化とその因果的背景」
(研究代表者：加藤雅俊)